

平成 30 年度第 1 回酒田市地域公共交通会議議事録

(敬称略)

会議名	平成 30 年度第 1 回酒田市地域公共交通会議
開催日時	平成 30 年 7 月 3 日 (火) 午後 1 時 30 分から午後 2 時 20 分
開催場所	酒田市役所 4 階庁議室 酒田市本町二丁目 2 番 45 号
出席者氏名 (敬称略)	<p>(構成員) 16 名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 酒田市副市長 矢口明子[会長] ・ 庄内交通株式会社代表取締役社長 村紀明[副会長] ・ 東北公益文科大学学部長 神田直弥[副会長] ・ 庄内交通株式会社専務取締役 本山経一 ・ 一般社団法人山形県ハイヤー協会酒田支部長 山崎正人 ・ 酒田市自治会連合会会長 阿部建治 ・ 酒田市地区自治会連合会会長 佐藤丈夫 ・ 八幡地域コミュニティ振興会連絡協議会会長 兵藤清彦 ・ 特定非営利活動法人酒田市障がい者福祉会理事長 佐藤健治 ・ 国土交通省東北運輸局山形運輸支局首席運輸企画専門官 大久保光康 ・ 私鉄庄内交通労働組酒田支部事務局長 後藤正志 (代理出席) ・ 酒田警察署交通課長 小野泰史 (代理出席) ・ 庄内総合支庁建設部道路計画課課長補佐 本間直樹 (代理出席) ・ 酒田市建設部長 村上清明 ・ 庄内総合支庁総務企画部総務課連携支援室室長補佐 高橋昌之 ・ 酒田市企画部長 阿部勉 <p>(事務局) 5 名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域創生部長 永田斉 ・ 商工港湾課港湾交通主幹 千葉清司 ・ 商工港湾課生活交通主査 小野慎太郎 ・ 商工港湾課生活交通係長 成澤直樹 ・ 商工港湾課生活交通係主任 佐藤瞳
欠席者氏名 (敬称略)	<p>(構成員) 5 名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般社団法人山形県バス協会会長 伊藤一郎 ・ 松山地域コミュニティ振興会連絡協議会会長 齋藤吉男 ・ 平田地域コミュニティ振興会連絡協議会会長 伊藤市太 ・ 酒田市老人クラブ連合会会長 武田正三 ・ 国土交通省東北地方整備局酒田河川国道事務所道路管理課長 田村正樹
協議題等	<p>【報告事項】</p> <p>(1) 平成 29 年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金 (地域公共交通調査事業 (計画推進事業)) 実績報告について</p> <p>(2) 平田ワンコインバスのダイヤ改正について</p> <p>(3) 第 2 回バス交通ファンクラブの実施について</p>

	<p>(4) 平成 29 年度事業報告</p> <p>【協議事項】</p> <p>[議案第 1 号] 平成 29 年度酒田市地域公共交通会議会計決算 (案)</p> <p>[議案第 2 号] ひらたタウンセンターバス停の廃止について</p> <p>【その他】</p>
<p>会議の要旨</p>	<p>以下のとおり</p>
<p>【進行】事務局 (成澤生活交通係長)</p> <p>1 開会</p> <p>ただ今から「酒田市地域公共交通会議」を開催致します。開会にあたり、会長の酒田市副市長矢口明子から御挨拶を申し上げます。</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>本日は遠いところ、お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。公共交通の再編については、「酒田市地域公共交通網形成計画」を平成 28 年 7 月に策定し、再編事業の実施に向けて課題などを交通事業者・住民等の各主体との協議をしているところである。利用者の声を取り入れてより利用しやすい公共交通にしていきたいと考えている。委員の皆様のご協力を賜りたい。</p> <p>3 委員紹介及び事務局紹介</p> <p>4 報告事項</p> <p>(事務局 (成澤生活交通係長)) 酒田市地域公共交通会議設置要綱第 7 条第 3 項の規定により、ここからは会長より議事進行をお願いいたします。</p> <p>(議長 (会長)) それでは、ここから私が議長ということですので、会議を進めたいと思います。本会議の議事録署名は、山崎正人委員、兵藤清彦委員からお願いしたいと思いますが、皆様よろしいでしょうか。</p> <p>(各委員) 異議なし</p> <p>(議長 (会長)) 会議終了後に、事務局からお二方に説明をいたしますのでよろしくお願い致します。それでは、「4 報告事項」に進みます。次第の「(1) 平成 29 年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金の実績報告について」と、「(2) 平田ワンコインバスのダイヤ改正について」と「(3) 第 2 回バス交通ファンクラブの実施について」、(4) 平成 29 年度事業報告を一括して事務局から資料の説明をお願いします。</p> <p>(事務局 (港湾交通主幹)) 【説明】</p> <p>(議長 (会長)) ただいま、事務局から説明がありました内容について、ご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。(4) 平成 29 年度事業報告でありましたようにコミュニティ振興会様、ハイヤー協会様、庄内交通様、東北公益文科大学の神田先生には大変お世話になりありがとうございました。</p> <p>(佐藤健治委員) 住民説明会での地域の皆さんの反応、意見はどのようなものがあつたか。</p> <p>(事務局 (小野生活交通主査)) コミュニティ振興会への案内は自治会長を通じて地域へ案内したが、参加者はバスを利用していない方がほとんどだった。バスを利用していない方のため、るんるんバスを 100 円で利用できることさえ知らない方が多かつた。</p>	

20年間のるんバスを運営していたので市民に浸透していると思っていたが、浸透していないことが分かった。どのようにしたらバスを利用していただけるかを周知していかなければならないと感じた。宮野浦のバスの利用者からは、酒田駅大学線では高見台を經由しない便に乗った時はかんぽの宿で降りて112号を渡って自宅に帰っており、冬などはとてもつらいという話があった。そのように思っている住民がほかにもいたようなので、4月のダイヤ改正では高見台を通る便を増やしている。バス交通ファンクラブも含めて地域や利用者の声を聞くのはとても大事だと考えている。

(佐藤健治委員) 地域の方の考え方を聞いて使い勝手が良いるんバスになれば公共交通会議の意味があるので、利用者の声をこれからも吸い上げてもらいたい。

(議長(会長)) コミュニティ振興会に再編計画の説明会をやったが、参加者にバス利用者が少なかったのでバス交通ファンクラブを立ち上げた。ファンクラブにもこれから乗りたいという人が多く利用者が少なかったので、遅くなったがお盆前までにアンケート調査を実施したい。るんバスと庄内交通の循環線でもご協力いただければありがたい。地域公共交通フォーラムもこれから利用する人を増やすために実施した。酒田市はるんバスと庄内交通が走っており時刻表は別々だったが、一緒にして利便性を向上させた。バスマップも作成、ベンチも作って利便性を高めるようにした。東北公益文科大学の課題型解決授業で学生が市内のレストランの地図を作成し、どうやったら利用が増えるかを調査してもらっている。その他、ご質問等がなければ、「5 協議事項」にうつります。

5 協議事項

(議長(会長)) 議案第1号「平成29年度酒田市地域公共交通会議会計決算(案)」については、監事より監査の結果、適正であったことを報告いただいております。詳細につきましては、事務局から説明をお願いします

(事務局(港湾交通主幹)) 歳入は先ほど説明した平成29年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金393,602円、酒田市一般会計からの酒田市地域公共交通会議負担金1,566,720円、預金利子2円です。歳出は、地域公共交通フォーラム、バス交通ファンクラブ、バスマップ等の事業経費861,813円となっております。不用額は市へ返戻金として支出しております。補足だが、歳出が少ない理由は、公共交通フォーラムの講師費用が少なく済んだためです。実際の事業経費と補助事業対象経費との差は、フォーラムの飲食費が補助対象にならないためです。

(議長(会長)) ただいま、事務局から説明がありました内容について、ご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。

(議長(会長)) その他ないようであれば、議案第1号「平成29年度酒田市地域公共交通会議会計決算(案)」、同意いただけますでしょうか。

(各委員) 異議なし

(議長(会長)) 議案第1号は承認されました。

(議長(会長)) 次に議案第2号「ひらたタウンセンターバス停の廃止について」、事務局から説明をお願いします。

(事務局 (港湾交通主幹)) 平田ワンコインバスのひらたタウンセンター内のバス運行について、平田総合支所の来庁者やバス運行事業者から、走行が危険であるとの声が寄せられていることから、平成 30 年 10 月 1 日からひらたタウンセンターのバス停留所を廃止し、敷地内を走行しないことを予定しています。平田タウンセンターには以前平田診療所もあり利用者が多数いましたが、現在は利用者がほとんどおりません。

(議長 (会長)) 平田地域への説明は終わったか。

(事務局 (港湾交通主幹)) 公共交通会議の承認を得てからと考えている。

(議長 (会長)) 平田地域は平成 30 年 4 月から庄内交通の路線バスから市の直営に変わった。今回のバス停の廃止も意見をもらったし、地域や利用者の声を聞いてより安全で利便性のある運行を考えている。

(神田直弥委員) 平田タウンセンターから平田総合支所までの距離はどのくらいか。

(事務局 (港湾交通主幹)) 100m くらいです。

(神田直弥委員) 利用者は何名くらいか。

(事務局 (港湾交通主幹)) 高校生が数名使う程度である。

(神田直弥委員) 便数としては六便あるが、高校生が乗るのは一日当たり数名程度と考えてよろしいか。

(事務局 (港湾交通主幹)) そのとおりです。

(議長 (会長)) 平田ワンコインバスのダイヤ改正もあったが、ひらたタウンセンターを通らなくなるのは資料 1 ページに記載の全六便か。

(事務局 (小野生活交通主査)) 海ヶ沢線もあるので全 12 便になる。

(議長 (会長)) 平田ワンコインバス以外にも止まるバスはあるか。

(事務局 (小野生活交通主査)) ありません。

(議長 (会長)) 平田タウンセンターから総合支所までは歩いていける距離なので、それよりも安全性を重視した。

(佐藤丈夫委員) 平田に診療所があったとは思わなかった。いつまであったのか。

(事務局 (小野生活交通主査)) 平成 20 年頃まであった。庄内銀行が平田総合支所に入ったことで支所の利用者が増えて危険になってきている。

(佐藤丈夫委員) 平田にはプールもあり、色々なイベントもあるので平田の皆さんは寂しくないのではないか。

(事務局 (小野生活交通主査)) イベントに来る人はいるが、バスの利用者は少ないようだ。

(神田直弥委員) 近くに図書館があるので自分もバスで行ったことがある。子どもを抱っこして利用したが大変だった。利用者がいないのであれば廃止しても良いと思う。

(議長 (会長)) どこから意見が出たか。

(事務局 (小野生活交通主査)) 平田総合支所からです。

(大久保光康委員) 二箇所止まっていたのを一箇所にするということか。

(事務局 (小野生活交通主査)) そのとおりです。

(議長 (会長)) ほかに無いようであれば、議案第 2 号「ひらたタウンセンターバス停の廃止について」、同意いただけますでしょうか。

(各委員) 異議なし

(議長 (会長)) 事務局からは地域への説明をよろしく申し上げます。それでは、議案第 2 号は承認されました。協議事項は以上となります。

(議長 (会長)) 続いて次第の 6 番、その他であります。委員の皆様から何かありますか。その他、委員の皆様からはないようですが、事務局は何かありますか。

(事務局 (港湾交通主幹)) 地域公共交通再編計画については、2019 年 10 月の実施に向け今年度は関係機関と協議しながら、別紙 6 のとおり計画を進めていきますのでご協力よろしく申し上げます。

(議長 (会長)) 資料 6 について詳しく説明してもらえますか。

(事務局 (港湾交通主幹)) 2019 年 10 月に向けてさまざまな関係機関、市街地はバスの事業者、郊外部等はタクシー事業者と協議していきたくて考えている。

(議長 (会長)) 事業者との打合わせは何度もしておりますので、今後は利用者との協議をしっかりとっていきたくて思っている。コミュニティ振興会やバスファンクラブともしましたが、バスアンケートをとって利用者の声を再編路線に取り込んでいきたくて。また、市役所の中でも協議をしております。公共交通の利用者には高齢者や障がい者もいますので、部会を設けて議論しているところです。

(佐藤健治委員) 視覚障がい者は音声の助けがないとバスに乗ることができない、とある障がい者から聞いたことがある。お金がないとできない話で、音声がないと利用できない人がいることをこの場の皆さんからも理解してもらいたい。

(議長 (会長)) 事務局いかがですか。

(事務局 (港湾交通主幹)) 酒田市以外の事例も調べながら検討したい。

(議長 (会長)) バス停から音声が出れば良いのか。

(佐藤健治委員) バス停があるのは分かるが、バスがいつ来るかが分からない。

(議長 (会長)) バスロケーションシステムの説明をしてはどうか。

(事務局 (小野生活交通主査)) 今年の 9 月からスマートフォンでバスが今どの位置にあるか調べることができる。

(佐藤健治委員) 視覚障がい者はスマートフォンを持っていない人が大半だ。障がい者はアナログの人が多い。そういうことをやっているということを知ることができなければ見ることもできない。

(事務局 (小野生活交通主査)) バス停に位置情報を表示して今どの位置にいるかが分かるようにするのが一番良いが、費用的な面で難しかった。今回のスマートフォンで見るとここ数年で費用が下がってきたので導入できるようになった。まずはできることからしていきたい。視覚障がい者への対応は他市の状況も考えて勉強していきたいと考えている。

(議長 (会長)) ほかの地域ではこのようなことをやっているという話などございますでしょうか。

(議長 (会長)) 庄内交通様の事業で時刻表の 45 ページに記載してありますが「お試し体験バス」を実施していただいております。酒田市内の地域や学校でも実施してもらっているところですが、乗っていないという人がいたら、色々な地域でもやってもらうとあ

りがたいと思います。

(議長(会長)) 利用者に周知しながら再編計画を実行するということで、この場でも相談させていただきたい。地域公共交通を維持していくために利用者を増やしていく、そのためには利便性を良くしていきたいと考えています。それでは、議事も終了しましたので、進行にお返しします。

7. 閉会

(事務局(成澤生活交通係長))

それでは、以上をもちまして、本日の酒田市地域公共交通会議を終了いたします。大変お疲れ様でした。


平成30年7月3日に開催された、平成30年度第1回酒田市地域公共交通会議の議事内容について、上記議事録のとおりであることを確認いたしました。

平成30年7月10日

議事録署名人

酒田市地域公共交通会議委員

酒田市地域公共交通会議委員

山崎 正人 
兵藤 清彦 